

保健管理センター設立50周年を迎えて

森 正明

1972年4月にそれまでの保健管理室が廃止され、新たに保健管理センターとして設立されてから50年が経過しました。今日、このように50周年記念の年を迎えることができたのは、設立当初から現在に至るまで、業務に携わってきた多くのスタッフの努力と、ご協力、ご支援を賜りました多くの関係者の皆様のおかげと、深く感謝申し上げます。

今から25年前の開設25周年記念である1997年には、6月から9月にかけて、4回シリーズで三田キャンパスや湘南藤沢キャンパスにおいて記念講演会が開催されました。同様の記念講演会の開催も考慮しましたが、新型コロナウイルス感染症の流行が終息していない状況下では催し物の開催が難しく、50周年に際しては慶應保健研究の特別号の発行を以って記念とさせていただくことになりました。

さて、私は1994年に保健管理センターに移籍し、2017年10月より、第7代の所長を務めております。その間の発展の歴史については、齊藤郁夫元所長や河邊博史前所長よりご寄稿いただいていると思いますので、私は現在の保健管理センターについて言及したいと思います。75周年や100周年を迎えた時のスタッフが当時を知り、これから先のさらなる発展の歴史を認識するための参考資料になれば幸いです。

保健管理センターの施設ですが、本部は設立当初と変わらず日吉キャンパスにあります。大学キャンパスの分室としては三田分室、湘南藤沢分室、矢上分室、信濃町分室、芝共立分室があり、一貫教育各校の分室としては高等学校分室、女子高等学校分室、志木高等学校分室、湘南藤沢中高等部分室、普通部分室、中等部分室、幼稚舎分室、横浜初等部分室があり、保健室や衛生室として知られています。また、日吉、三田、湘南藤沢、矢上キャンパスの施設は慶應義塾診療所としても登録されており、保健管理センターのスタッフが診療所のスタッフを兼務しています。

保健管理センターの目的は規程により、健康の保持増進のための医学研究ならびに慶應義塾の設置する大学および一貫教育校の学生・生徒・児童（以下「塾生等」）の保健衛生教育ならびに義塾全般の保健管理に関する専門的業務を行い、塾生等および義塾教職員の保健を図ることとしています。この目的を遂行するため、現在、保健管理センターのホームページには代表的な業務として次のような項目を上げています。

1. 健康増進のための医学研究および調査

保健管理センター内の研究だけでなく、医学部、薬学部など学内、さらには学外の様々な研究組織との共同研究も進めています。

2. 学生に対する保健衛生教育

設置講座（現代社会と医学）のほか、体育研究所、医学部、看護医療学部との共同講義を行っています。また、依頼にもとづいて他の教育機関にも講師を派遣しています。

3. BLS教育, 講習
4. 日常の救急処置
5. 学校行事の際の救護(運動会, 修学旅行, 水泳・スキー合宿など)
6. 児童・生徒・学生の定期健康診断
7. 教職員採用時健康診断, 雇入時健康診断
8. 義塾健保加入者の特定健康診査および特定保健指導
9. 特定化学物質や電離放射線取扱者等の特殊健康診断
10. 深夜業務, 病原体取扱い業務等の特定業務健康診断
11. 定期および臨時健康診断の実施とその結果に基づく事後措置など健康保持のためのその指導および健康相談

6～11の健康診断結果に基づいて, 学校医として就学上の, 産業医として就業上の制限や配慮事項について判断し, 管理者に勧告を行うとともに, 対象者には必要な支援, 指導を実施しています。

12. 健康診断証明書の発行
13. 校舎, 食堂等の環境衛生に関する調査およびその指導
14. 感染症の予防に関する対策およびその指導
15. 医療系学部生, 大学院生, 医療従事者の感染症抗体検査等および指導
16. 医療系学部生, 大学院生, 医療従事者のB型肝炎予防接種
17. 長時間労働者や長期欠勤者に対する産業医による面接, 就業可否の判定
18. 感染症罹患者に対する学校医, 産業医による就学, 就業可否の判定
19. 薬品, 消耗品, AEDの点検・補充
20. 日報, 日誌, 記録などの事後処理

これらの業務を大きく分類すると, 研究業務, 教育業務, 健康診断業務, 学校保健業務, 産業保健業務に分かれ, さらに兼務する診療所の診療業務を加えると, 6系統の業務をこなしていることになります。これらの業務はそれぞれ独立した機関が行っているような内容ですが, これらを1つの機関で相互に連携させて実施することで, 質の高いサービスを効率的に提供できる体制を構築していると言えます。その反面, 業務の量も相当ですが, 業務の種類の多さに関しては他に類を見ない医療機関になっていると言えます。

保健管理センターのスタッフは現在, 専任の医師が内科10名, 小児科5名, 精神神経科1名, 保健看護職は専任17名, 嘱託9名, 事務職員は専任4名, 嘱託3名, カウンセラーも含めると50名以上の組織ではありますが, 業務の対象となる塾生は, 小学生から大学院生まで約41,000名, 教職員は約6,000名と地方都市の人口に匹敵するほどの数であり, この人数で運営するため, スタッフのひとりひとりが八面六臂の活躍で, 求められている業務をこなしながら, 日々発生する様々な問題に対処し, 現場を支えているというのが現状だと思います。その苦労はいかばかりかと感謝せずにはおれません。

慶應義塾は開塾以来, 160年以上にわたり数多くの人材を育成して社会に貢献してきましたが,

今後、日本だけでなく、世界の情勢が大きく変化していく中で、さらに多くの期待が寄せられるものと思います。保健管理センターは塾生、教職員を健康面から援助し、義塾の使命の遂行を支援すると共に、保健管理分野の研究発展と人材育成を通じて社会に貢献していく役割を担っており、その重要性はさらに増していくものと思います。

私の任期も先が見えてまいりましたが、スタッフの誰もが誇りを持って働くことができる職場を目指してまいりたいと思います。関係者の皆様におかれましては、今後とも末永い、ご指導、ご協力をお願い申し上げます。